学校法人専修大学 役員改選

学校法人専修大学の役員の選任は、寄附行為第8条第1項に定めるところによる、第1号（総長）は空席、同第2号の専修大学長、石巻専修大学長、専修大学北海道短期大学長は、任期中のため、今回は改選の対象とならない。

改選の対象となったのは、同第3号（評議員のうちから評議員会において選任）と、同第4号（学識経験者として理事会において選任）に定める理事及び第9条の監事（評議員会において候補者を選出し、理事長が選任）で、新理事が1人、新監事が1人選任された。任期はいずれも11月3日から3年間。

役員

（再＝再任／敬称略）

理事長　日髙　義博（再）
理事　日髙　義博（専修大学長）
理事　坂田　隆（石巻専修大学長）
理事　寺本　千名夫（専修大学北海道短期大学長）
理事（専務）　富山　尚徳（再）
理事（常務）　佐藤　猛（再）〔総務担当〕
理事（常務）　田中　實（再）〔財務、体育担当〕
理事（常務）　市川　辰雄（新）〔石巻専修大学担当〕
理事　波岡　實（再）
理事　岡村　誠男（再）
理事　小豆畑　孝（再）
理事　宮岡　孝之（再）
理事　甘竹　秀雄（再）
理事　桃野　直樹（再）
理事　坂本　武憲（再）〔法学部長〕
理事　内野　明（再）〔商学部長〕
理事　伊東　洋三（再）〔ネットワーク情報学部長〕
理事　西島　篤師（再）
理事　宇都　榮子（再）〔人間科学部長〕
理事　金子　洋之（再）〔文学部長〕
理事　室井　義雄（再）〔副学長〕
理事　馬場　杉夫（再）〔経営学部長〕
理事　福島　利夫（再）〔経済学部長〕
理事（常務）　松木　健一（再）〔学務、情報システム担当〕
理事（常務）　湯浅　敏明（再）〔専修大学北海道短期大学、企画担当〕
理事（常務）　小野　博良（新）
理事（常務）　今野　健吾（新）
監事　小宮多喜次（再）

新役員の紹介

小野　博良氏（おの・ひろよし）

本学商学部卒業。秘書室長兼石巻専修大学・専修大学北海道短期大学東京事務所長。㈳専修大学評議員、㈳北上学園評議員、㈳専修大学附属高等学校評議員。55歳。

今野　健吾氏（こんの・けんご）

本学法学部卒業。総務部長兼校友・育友事務部長、㈳専修大学評議員、同常務理事などを歴任。㈳専修大学松戸高等学校理事・評議員、㈳北上学園理事・評議員。60歳。

専修大学生田キャンパスの取り組み

川崎・省エネ大賞に

▲ 中央監視室

専修大学生田キャンパスの省エネ・創エネの取り組みが川崎市の省エネ新技術導入促進事業「かわさき環境ショーウィンドウ大賞2012」の大賞に選ばれた。

表彰式は来年2月2日に、川崎市とどろきアリーナで開催される「川崎国際環境技術展2013」で行われ、展示ブースで紹介される。

本学管理課は、学生の学習環境を充実させ、環境の質を向上させることを基本理念として、独自の照明、空調制御システムを構築し、省エネルギー化を推進している。

生田キャンパスでは、空調設備の運転は各教室が、その日の外気温度と室内温度に合わせて個別に判断し、運転、停止を行う「許可運転方式」を新たにつくり上げた。

空調設備許可運転時間帯（8時30分～19時45分）においては、二酸化炭素濃度が基準値を超えると自動的に室内空気を入れ換える「換気制御システム」を構築している。

さらに、この制御と空気調和機、室内エアコンの変風量制御を連動させて、省エネルギー効果を高めている。

これらの取り組みに関連して、昨年、ネットワーク情報学部の綿貫理明プロジェクトの学生が、生田キャンパスの建物ごとの電力消費状況をモニターによりリアルタイムで表示する装置を開発。同キャンパス10号館1階エレベーターホールに、「見える化・『電力モニタリングシステム』」として表示しており、学生たちの省エネ意識向上につなげている。

※同賞は東日本大震災以降の電力不足などの状況を背景に、省エネ・創エネの意識向上を図ろうと創設された。技術や製品の導入により効果を上げた企業・団体の取り組みを表彰する。

学位取得

今井雅和経営学部教授　早稲田大学から博士（商学）

今井雅和経営学部教授＝写真＝は5月16日、早稲田大学から博士（商学）の学位を授与された。

学位論文名は「新興市場ロシアと国際ビジネスの進化に関する研究」。

社会体育研究所「行動変容ステージからみた体力向上プログラムの実践活動」研究

「タニタ健康体重基金」活動助成に採択

▲ 中高年者と子どもを対象としたスポーツ実践公開講座を実施している

専修大学社会体育研究所（佐藤雅幸研究所長）の研究「行動変容ステージからみた体力向上プログラムの実践活動―大学による地域公開講座における子どもと高齢者を対象に―」が、本年度「公益信託タニタ健康体重基金」活動助成に採択された。

肥満解消、適正体重の維持に関する科学的研究および啓発的な実践活動として高く評価されたもの。

同研究所はこれまで15年にわたり、中高年者と子どもを対象としたスポーツ実践公開講座を実施している。今後、助成金を有効活用し、公開講座の充実を図るとともに、成果を広く公開していく。

体脂肪計・体組成計の世界トップメーカー株式会社タニタは、肥満や適性体重に焦点を当てた優れた研究や活動に対し助成を行う、世界ではじめての基金「公益信託タニタ健康体重基金」を設立（1994年）し、積極的な助成活動を行っている。

公開講座情報

社会知性フォーラム

「社会知性フォーラム」は本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」に基づく「知の発信」の場として、大学が持つ研究力・教育力を生かし、地域社会への貢献を図ることを目的に2010年度から実施。今回は専修大学北上高校の地元である岩手県北上市で開催する。

▽日時＝11月17日（土）13時30分～▽会場＝日本現代詩歌文学館（岩手県北上市）▽講演者・演題＝仲川恭司専修大学文学部教授（書家）「漢字の伝来から日本の文字文化へ」／杉田博石巻専修大学経営学部准教授「被災地における経営と経営学―同じ場所で同じ時間を生きる―」

申社会知性フォーラム申込受付係（専修大学北上高校内）☎0197・63・2341　E-mail:sirasato@senshu-u-kitakami.ed.jp

3大学知的探訪「専修大学で川崎の歴史を学ぼう！」

多摩区制40周年を記念し、区内に立地する3大学（専修、明治、日本女子）が連携した公開講座やキャンパスツアーを各大学で開催。専修大学は以下の講演会を実施する。参加費無料。

▽日時＝12月1日（土）10時30分～▽集合＝生田キャンパス114教室▽講演者・演題＝土生田純之文学部教授「川崎の古墳を考える」※講演終了後、希望者を対象にキャンパスツアーを実施。

問学長室企画課「3大学知的探訪」係☎044・911・1252

「高野辰之の生涯」展 12月1日から仙台で

記念演奏会やシンポも

▶ 「高野辰之の生涯」展チラシ

「故郷」「春の小川」など数多くの名曲を残し、専修大学校歌・石巻専修大学校歌の作詞者・高野辰之の足跡を追う「石巻市・石巻専修大学・専修大学共同企画展　唱歌斉唱―『故郷』の作詞者・高野辰之の生涯―」は12月1日（土）から16日（日）まで、仙台市の「東京エレクトロンホール宮城」（宮城県民会館）5階展示室で開催される＝本紙504号既報。

期間中、記念演奏会とミニ講演会が2回（▽1日、エル・パーク仙台スタジオホール▽15日、石巻専修大学学生ホール）開かれるほか、9日には高野の生涯や業績をたどる記念シンポジウムが「東京エレクトロンホール宮城」で開催される。入場無料。

問大学史資料課☎03（3265）5879

専修人の新しい本

ベーシック金融論

山中　尚著

現代の金融論は、その分析手法が高度な数学を用いたものに進化しているが、本書ではモデル分析を使って理論体系を解説することは極力控えられている。著者が大学で行ってきた講義ノートをもとに書かれていることもあり、金融の仕組みと役割を体系的に学べる初学者にとっては、格好の入門書である。

全14章で構成されており、わが国の金融制度の特徴と変化から、外国為替市場、証券市場、デリバティブ、インフレとデフレ、さらには金融政策とわが国の金融規制の体系まで、金融論を学ぶに当たって欠かせない基礎理論が網羅され、平易かつ明解に解説されている。（同文館出版・本体2800円＋税）

著者（やまなか・たかし）＝経済学部教授。主な担当は金融論。

西洋哲学史Ⅰ―Ⅳ

神崎繁ほか責任編集

4巻からなるこの『西洋哲学史』は、従来の固定的な哲学史叙述を排し、「現代哲学への通路」としての魅力ある哲学史を提唱している。

編者が序文で記しているように、「哲学史」の下限をバースやベルクソンあたりにまで押し上げ、ニーチェやハイデッガーは第1巻で論じている。パルメニデスの「存在」をめぐる思考に西洋哲学の起点があることを再認識し、中世を暗黒の時代ではなく、絶えず再生を繰り返した時代としてとらえ直す――などの点が特徴となる。

多数の哲学者が、各自の関心に従い、問題ごとの直近の研究史から古典にさかのぼる形式を取っている。各巻には、刺激的なサブタイトルが付けられている。順に、「『ある』の衝撃からはじまる」、「『知』の変貌・『信』の階梯」、「『ポスト・モダン』のまえに」、「『哲学の現代』への回り道」となる。（講談社選書メチエ・本体1800～1900円＋税）

責任編集者（かんざき・しげる）＝文学部教授。主な担当は西洋古代哲学、西洋古典学。

訃報

八林秀一氏（やつばやし・しゅういち）経済学部教授

11月5日、66歳で死去。1978年から在職。専門は近現代ドイツ社会経済史。1990年から体育会サッカー部長を務めていた。